平成28年度第1回尾張旭市男女共同参画審議会会議録

1 開催日時

平成28年7月28日（木）

開会 午前10時

閉会 午後0時15分

2 開催場所

尾張旭市役所 3階 講堂2

3 出席委員

谷山れい子、若杉眞佐子、中野真紀、西山妙子、高田勝弘、長岡啓一、三浦庄三、松田照美、伊藤一正、松澤裕子 10名

4 欠席委員

唐井可愛、岡崎信久 2名

5 傍聴者

2名

6 出席した事務局職員等

市民生活部長 小池勲、市民生活部次長 加藤仁亜貴、市民活動課主幹 西尾頼子、市民活動課男女共同参画係長 大津奈々子、市民活動課男女共同参画係主事補 森紗雪 5名

7 議題等

(1) 副会長の選任について

(2) 平成27年度第2次尾張旭市男女共同参画プランの外部評価について

(3) 平成28年度第2次男女共同参画プラン関連講座計画について

事務局 (主幹)	<p>みなさん、おはようございます。</p> <p>本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。市民活動課主幹の西尾と申します。</p> <p>ただ今から、平成28年度第1回尾張旭市男女共同参画審議会を開催いたします。</p> <p>本日は、岡崎委員と唐井委員が欠席ですので、12名の委員のうち、10名の方にご出席いただいております。尾張旭市男女共同参画審議会規則第4条第2項の規定する過半数の出席を得ておりますので、本審議会は成立しておりますことを、まずもってご報告申し上げます。</p> <p>また、本会議は、市の「附属機関の会議の公開に関する基準」に基づき、傍聴を認めていること、また、「附属機関の会議録等作成に関する基準」に基づき、情報公開の対象となりますことも、あわせてご了承ください。</p> <p>それでは、会議開催にあたりまして、市民生活部長の小池より、一言ご挨拶申し上げます。</p>
市民生活部長	<p>改めまして、皆様、おはようございます。市民生活部長の小池でございます。本日は、ご多忙のところ本審議会にご出席賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、ご承知のとおり、本市は、現在、皆様のご協力を得て、第2次男女共同参画プランに基づき、「地域防災における男女共同参画の推進」「ワーク・ライフ・バランスの推進」「暴力を未然に防止する仕組みづくり」等の新たな重点施策事業に取り組んでおります。また、女性の社会進出・働く女性の支援、あるいは、子育てや待機児童対策等、ますます多様な取り組みが求められております。</p> <p>このような状況の中、いよいよ本年度は、第2次プラン1年目の取り組みについての評価を行うこととなりました。庁内の推進会議や幹事会でも、さまざまな意見が出され、本日は、その内容を反映させた実施状況を、お示しさせていただいております。ぜひ、皆様の貴重なご意見を頂戴したいと存じます。</p> <p>本年度は、事務局のメンバーが一新され、主幹初め全員女性で構成されております。事務局一同、精一杯、努めますので、何卒宜しく願いいたします。</p> <p>以上、簡単ではございますが、ごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。</p>
事務局 (主幹)	<p>続きまして、尾張旭市男女共同参画審議会会長の松田照美様より、ご挨拶をお願いいたします。</p>

会長	<p>おはようございます。審議会会長の松田と申します。</p> <p>皆様には、第2次男女共同参画プランの作成及び尾張旭市の男女共同参画推進にあたり、様々なご意見を頂戴し、またそれぞれの場でご活躍いただいていると存じております。</p> <p>本日は、ご多忙のところ、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>先ほど部長のご挨拶にもありましたが、昨年より第2次男女共同参画プランがスタートし、本審議会では評価に取り組むこととなりました。市の事業が効果的に進むように、皆様にご意見を賜りたいと思いますので、宜しくお願いいたします。</p>
事務局 (主幹)	<p>ありがとうございました。</p> <p>部長におきましては、他に公務がございますので、ここで退席させていただきます。</p> <p>それでは、まず、資料のご確認をお願いいたします。</p> <p><資料の確認></p> <p>お持ちでない方は、事務局までお申し出ください。</p> <p>本日は、年度が替わりまして初めて出席される委員の方もみえますので、次第2により、委員のかた全員に、簡単に自己紹介をお願いできますでしょうか。名簿順でお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、尾張旭市地域活動連絡協議会の谷山様からお願いします。</p>
委員	<自己紹介>
事務局 (主幹)	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に事務局から自己紹介させていただきます。</p>
	<事務局自己紹介>
事務局 (主幹)	<p>それでは早速ですが、議事に移らせていただきたいと思います。</p> <p>進行につきましては、当審議会の議長であります松田会長にお願いしたいと思います。松田会長、よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、議事に移らせていただきます。</p> <p>次第3 (1)「副会長の選任」について、事務局から説明してください。</p>
事務局 (係長)	<p>昨年度まで副会長をおつとめになられた尾張旭市地域活動連絡協議会の奥村様が交替されましたので、副会長が不在となっております。</p> <p>そこで、副会長の選任を行いたいと思います。</p> <p>参考資料 尾張旭市男女共同参画審議会規則をご覧ください。</p> <p>規則第3条第1項で、副会長は、委員の互選によると規定されております。立候補もしくはご推薦でも結構です。</p>

議長	ありがとうございます。 では、副会長について、立候補や推薦はありますか。
中野委員	<挙手> はい。
議長	どうぞ。
中野委員	副会長には、人権擁護委員の尾張旭地区の委員長も務め、男女共同参画も含めた幅広い人権についての知識をお持ちの三浦委員を推薦したいと思えます。
議長	ただ今、中野委員より三浦委員のご推薦がありましたが、ほかにございませんでしょうか。
	<なし>
議長	ほかにないようですので、三浦委員に副会長をお願いすることで異議はございませんか。異議がなければ、拍手をもってご賛同いただけますでしょうか。
	(拍手)
議長	異議なしということでお認めをいただきましたので、三浦庄三様に副会長をお願いすることといたします。それでは三浦委員には副会長席にお座りいただきまして、一言ご挨拶をお願いいたします。
副会長	(副会長席へ移動) (就任あいさつ)
議長	ありがとうございました。 それでは議題(2)に移ります。「第2次尾張旭市男女共同参画プランの外部評価について」初めての方もいますので、まずは、プランの概要及び評価方法について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (係長)	<資料1を基に説明>
議長	ただいま、事務局から審議会での評価の仕方についての説明がありました。 これから、この審議会では重点施策の評価を行ってまいります。重点施策については、各事業についても確認することとなります。 では、施策2-3「地域防災における男女共同参画について」まず評価を行います。内部評価では、3-Bとなっています。まず、事務局より説明をお願いします。
事務局 (係長)	<資料1及び追加資料を基に説明>

議長	<p>ただいま、施策2-3について、どのような事業を27年度に行ったのか説明がありましたが、ご質問・ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>まず、私から質問させていただきますが、事業No. 35の実施状況にあります、「尾張旭市防災会議において、2名の女性委員の増員委嘱について報告した。」とは、どのような意味でしょうか。</p>
事務局 (係長)	<p>尾張旭市防災会議の場で、来年は2名増員することを報告したということで担当課より聞いております。実際は、平成28年11月に、2名増員することになります。</p>
議長	<p>追加資料にある人数は、いつ時点の人数でしょうか。</p>
事務局 (係長)	<p>追加資料にある、現在23名（男性委員20名、女性委員3名）とは、平成28年4月1日時点の人数です。ですので、今年度女性委員を2名増員し、合計5名となります。</p>
伊藤委員	<p>昨年12月に開催された池田教授による防災講演会に参加し、避難所運営において、男性が窓口であると女性が相談をしにくい等といった内容について話を聞いてきました。</p> <p>この講演会の内容について、その後どのように生かされたか、何か聞いていますか。地域の中学生や高校生にお願いすることができれば運営がスムーズに進むのではないかと思います。</p>
事務局 (係長)	<p>今週、自主防災組織を対象とした防災講習会が開催され、同様のお話がありました。自主防災組織に女性役員が少ないといった現状があるようですので、災害対策室としても、まずは女性役員の増員を促すことに力を入れていきたいとのことでした。</p>
谷山委員	<p>私も昨年の講演会に出席しましたが、もっと市全体でこのような講演会があるということを伝えていくべきであると思います。自主防災組織以外にも、興味がある方は地域にたくさんいると思うので、そのような方を対象とした講演会になれば、子どもにも防災についてもっと伝えていけるとと思います。</p>
長岡委員	<p>自主防災組織に女性が少ないという点に関しては、尾張旭市の地域役員が1年で交代となってしまうことも原因となっていると思います。自主防災組織では特に、最低でも2～3年は継続しないとリーダー的存在にはなれません。その部分を掘り起こしていかないと、女性の参画は難しいと考えています。今年、防災会議の女性役員が増員するとのことですが、将来的には1名以上各地域の女性が役員として入っていただけると、より身近になるのではと思います。</p> <p>また、防災講演会については、年に4回あるうち、約半分は平日の昼間に開催されていますが、災害が起きた時に中心となる層は働いていて、なかなか参加できません。開催する曜日や時間についても考えていただきたいと思います。熊本地震が起きた直後ということもあり、地域でも</p>

	防災への関心は強いので、今がチャンスであると思います。
議長	審議会の資料には、抽象的な言葉ではなく、今いただいた意見のように、具体的な内容を記載していただきたいと思います。
松澤委員	防災訓練の中で、テントや間仕切りを使用したとのことですが、現時点ではまだどの地域も購入はしていないということでしょうか。 また、追加資料の今後の取り組みの中で、テントやおむつ交換台を購入するとありますが、間仕切りについては、購入しないのでしょうか。
長岡委員	旭丘小学校で行った訓練では、段ボールの間仕切りを使用していたと記憶しています。
事務局 (係長)	担当課に確認し、皆様にご報告させていただきます。
高田委員	P D C Aサイクルを考えると、資料にはPとDが記載してあるかと思いますが、実施状況（D）に対する効果については何かありますか。
事務局 (主幹)	効果については各課に依頼はしていませんでしたので、把握できておりません。次回の評価から、各課に依頼することも検討していきたいと思います。
議長	確かに、行政の事業というのは、実施したかどうかという話だけで、P D C Aサイクルで考えると物足りない部分があります。評価初年度ということもあり、評価の方法についても今後変わっていく可能性があります。今回については、目標に向けて事業をより良くするための評価と考えていただき、ご意見をお願いします。
副会長	内部評価に「B（充実）」とありますが、今後何を充実していくのか、伝わってこない部分があります。
事務局 (係長)	全体を見ると、どの方向に進むのか不明な点はあるかもしれませんが、担当課としては、追加で配付した資料に記載があることについて、充実していきたいという考えであります。
議長	内部評価は、事務局で評価したものではなく、推進会議で評価を決めたということでしょうか。
事務局 (主幹)	はい、庁内で開催しましたワーキング部会、幹事会、推進会議を経て内部評価を決めさせていただいております。
議長	庁内会議で内部評価を決定した際に、どのような意見があって「充実」という評価に決めたのでしょうか。
事務局 (係長)	災害対策室として、追加資料にあるような事業を今後実施していきたいという考えを聞いたうえで、27年度と同様の事業を継続するのではなく、さらに充実させる、という意味でこの評価にしております。
副会長	他に推進会議で出た意見はありますか。
事務局 (主幹)	多数の事業で構成される施策で、事業評価が分かれているものについては、平均をとるのか、多い評価を取るのか等、様々な意見は出ましたが、内容を見たうえで、評価はしております。

議長	事業についてのご意見は、色々いただきましたが、施策の評価としては、何かご意見等ございますか。
高田委員	進捗度は行動目標があったうえでの評価となると思いますが、何を目標として、どのような理由で3としたのか、教えていただきたい。
事務局 (主幹)	計画については、プランに記載してある計画のみで、委員を何名登用する等の具体的な目標はありません。ですので、プランの計画に対して、担当課がどれだけ実施したか判断して評価しております。ものさしがなく評価が難しいという意見は推進会議でも出ておりますので、次回の評価より、ある程度のものさしを設定することも検討していきたいと思います。
長岡委員	具体的な行動目標がないと、評価はし難いと思います。
松澤委員	プラン冊子の76ページに、36年度目標にはなりますが、具体的な指標はあります。
谷山委員	前年度の事業の反省も踏まえて、27年度は資料の実施状況の部分に記載してある事業を行い、その実施状況が前年と比較してどうであったかということの評価したのではないのでしょうか。
事務局 (部次長)	尾張旭市では、毎年行政評価を行っておりますが、具体的な数値目標に対する評価をしており、男女共同参画プランについても同様の目標がないと評価し難いというのはおっしゃるとおりであります。松澤委員のご意見のとおり、13の施策に対する指標はありますので、せめてこの数値だけでもお示しする必要があったと反省しております。 ですが、それぞれの事業については、具体的な数値目標はなく、担当課の判断で評価をしておりますので、この実施状況だけであるということをご理解いただきたいと思います。 今回の審議会では、施策という事業をまとめた大きなものの評価をしていただくこととなりますので、先ほどありましたように、前年度に対してどうであったか、また今後についてどうするべきか、ご意見をいただきたいと思います。
議長	ありがとうございます。確かに、目標は抽象的な部分がありますので、谷山委員の意見のとおり、前年に対してどれだけ進んだかということを見ていけばいいのではないのでしょうか。そう考えますと、この実施状況から少しずつステップアップはしていると伺えますが、まだ工夫する余地はあると考えられます。ですので、評価としては3-Bになるかと思われませんが、いかがでしょうか。
委員	<異議なし>
議長	ありがとうございました。では、審議会評価について、進捗度は3、今後の進め方はBとします。評価は以上ようになりますが、事務局は、意見を評価結果に記載していただくとともに、各課にフィードバックしていただきますようお願いいたします。

	<p>それでは、続きまして、施策3-2「ワーク・ライフ・バランスの推進」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (係長)	<p><資料1及び追加資料を基に説明></p>
議長	<p>では、施策3-2について、評価をしていきます。市の内部評価は、3-Cとなっています。</p> <p>実施状況を見ていただいたうえで、ご質問・ご意見、また審議会での評価についてご意見がありましたら、ご発言をお願いします。</p>
松澤委員	<p>No. 46の産業課が男女雇用機会均等月間に合わせた周知等が行えなかった理由と、No. 47の「既存の女性組織に対する支援を行った。」について、何の支援を行ったのかお聞かせください。</p>
事務局 (係長)	<p>No. 46については、国からの指示がなく、産業課も気づいたら6月が過ぎていたという状況であったと聞いております。今後は、月間に合わせた啓発ももちろん実施するべきだと思いますが、それだけでなく年間を通して啓発は行っていきたいと考えております。</p> <p>No. 47については、チラシ等を配布したとしか聞いておりませんので、産業課に確認し、またご報告させていただきます。</p>
伊藤委員	<p>「商工会だより」を中心に啓発している事業が多いですが、どのくらい配布されているのでしょうか。</p>
事務局 (部次長)	<p>商工会の会員向けの情報誌となります。現在商工会の加入率は、企業の53～54%と把握しております。</p>
若杉委員	<p>もっと視覚に訴えて、わかりやすく啓発を行うべきだと思います。啓発に関しては、なされていないことが多いのに評価は高いと感じます。</p>
議長	<p>他の市でも議論の対象となりますが、「チラシを窓口に設置した」という啓発方法には疑問を感じます。チラシの内容も重要であります。届け方も考えていくべきであると思います。</p>
高田委員	<p>プロセスを一番知りたいので、そこをもう少し突っ込んでいただくと、評価しやすいと思います。</p>
副会長	<p>先ほど産業課が機会を逃したというのは仕方がないですが、それを踏まえて今年度どのようにしていくのかというプランがあるのかどうか疑問に感じます。また、ここでの評価の拡充という言葉が、ミスマッチに感じますが。</p>
議長	<p>先ほどと同様で、どのような意見が出されたのかが重要だと感じますが、事務局何かありますでしょうか。</p>
事務局 (係長)	<p>男女雇用機会均等月間以外にも啓発を行っていくという意味で今後の方向性は、Cの拡充としています。Bの充実との違いが難しいとは感じていますが。</p>
議長	<p>拡充は充実と比較して、もっとやっていくという考えが含まれていると思います。</p>

伊藤委員	何かを作ったり、イベントを実施したりということに対して評価するというわけではなく、チラシを配布してどのように効果が出たのかというのは見えにくい。啓発は難しいと感じます。
長岡委員	子育て支援サービスは、行政が主体となって実施しているということが見えますが、女性が働く職場に対する働きかけは今一步踏み込めていないと感じます。チラシによる啓発だけでなく、雇用主や会社の人事担当者に対して直接働きかけを行わないと、進めていくのは難しいと思います。チラシを配布したとしても、一部だけでもその後どうなったかは調べていくべきではないかと思いますが。
松澤委員	実際に、ファミリーフレンドリー企業で働いている女性を取材する等して、働きやすさがいかに労働の場に影響をもたらしているのかを示さないと、企業は動きにくいのではないかと思います。
伊藤委員	チラシやパンフレットは市が独自に作成しているものはありますか。内閣府や県等から来たチラシを配布しているだけですか。
事務局 (主幹)	今のところは、市独自で作成しているものではありません。
議長	皆さんが物足りないと感じる部分ではないかと思いますが。市が独自で作成していく必要があるのではないのでしょうか。
若杉委員	例えば、道路脇にある、健康都市をアピールした看板のように、一目で訴えられるような啓発ができないのでしょうか。
議長	細かい字で書くよりも、視覚で訴えるというのは大切だと思います。様々な意見が出ましたが、評価を行いたいと思います。今後の進め方については、CないしDだと思いますが、いかがでしょうか。
長岡委員	私は、Bだと思います。
谷山委員	松澤委員からあった成功例を示していくような事業を追加すると考えると、Cであると思います。
伊藤委員	予算は、9月に補正ができるのですか。何をするにしても、予算は必要になってくると思いますが。
事務局 (主幹)	9月補正は現在査定が進んでいるところです。予算を追加して何か行うとなると、前年に計上し、翌年実施するという流れになります。
議長	意見が分かれたので、多数決で決めたいと思います。Cと思われる方は挙手をお願いします。
	<7名挙手>
議長	多数決により、今後の進め方はCとします。進捗度に関しましては、具体的な目標が明確でない施策ですので、評価は難しいと思いますが、いかがでしょうか。
伊藤委員	内部評価は、予定していたとおりチラシ等による啓発を行ったということで、3となったのではないのでしょうか。

高田委員	今後の方向性の3項目で見ると、子育て支援サービスは進捗度が高いと思います。ですので、全体的に見ると3で良いのではないのでしょうか。ただし、今後の進め方をしっかりと考えていく必要はあると思います。
議長	そこは事務局よりしっかりとフィードバックしていただきたいと思います。 では、進捗度は3ということによろしいでしょうか。
	<異議なし>
議長	では、施策3-2については、進捗度が3、今後の進め方はCとさせていただきます。 それでは、施策6-1に移ります。施策6-1「暴力を未然に防止する仕組みづくり」について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (係長)	<資料1及び追加資料を基に説明>
議長	ありがとうございます。皆様から、ご質問・ご意見等ございましたら、ご発言をお願いいたします。 私からまず質問させていただきますが、No. 68の市民活動課での相談について、DV相談はありましたが。
事務局 (係長)	DV相談に関しては、こども課で対応しております。相談件数は、平成26年度が10件、平成27年度12件と聞いております。
若杉委員	この施策については、不審者情報はメールですぐ情報が入りますし、保育園でも何かあると門にポスターで掲示される等、啓発は効果的に行われていると思います。
高田委員	この施策の件数に関しては、多い方が良いのか、少ない方が良いのかは諮れないと思います。前年度より相談件数が少なくても、相談すべき方が来なかった場合もありますし、一時保護の件数でも同じことが言えると思います。データは見るべきですが、それを評価するのは難しいと感じます。
中野委員	通報の件数は把握していますか。
事務局 (係長)	把握しておりませんので、これについても調べてご報告いたします。
副会長	人権擁護委員の立場から発言しますと、DV等の話は滅多に出てきません。月に2回「人権こまりごと相談」がありますが、そこでのDV相談は少ないです。人権擁護委員としても啓発は行っていかなければいけないとは感じていますが、法務省の意向もありますので、相談しながら進めていきたいと思っています。
中野委員	なかなか評価し難いという意見が出ていますが、やはりこういった物品やチラシを配布しているのか、相談は何件あるのか、講座は何回開催したのか等の詳しい実施状況があると、イメージが湧きやすいですし、前年度との比較もしやすくなると思います。

議長	若者向けのデートDV講座等は実施されているのでしょうか。
事務局 (係長)	どの課が担当であるのか、確認します。ただ、一般の方向けにDV講座を実施することは難しいと、こども課から聞いております。
副会長	冒頭で、資料の「審議会意見」の部分を「審議結果」と変えると説明がありましたが、具体的にはどのようなことを記載されますか。
事務局 (係長)	まず、外部評価が3-Bとなった場合、文章で「概ね計画どおり実施されている、現在の取り組みを更に充実すべきである」と記載します。その下に、いただいたご意見を載せるという形で考えております。
議長	先ほど委員さんから内部評価をする際に出た意見について質問があったとおり、この場でどのような意見が出たかが重要であると思います。 外部評価について、私は、進捗度は3、今後の進め方はAかBか悩ましいところであります。皆さんはいかがでしょう。
谷山委員	チラシ等は設置してありますが、今後については更に充実すべきではないかという思いもあります。AかBかの境くらいだと思います。
若杉委員	「未然に防止」ということを考えると、Bだと思います。
中野委員	判断しづらい部分はありますが、内部評価で今後継続すると判断されているので、Aで良いのではないのでしょうか。
西山委員	全体的なことですが、実施状況に対する成果があったと判断してAとしているのか、成果がなかったからBとしているのか、理解できなかった部分はあります。ですが、内部評価でAとしているので、Aで良いのではないかと思います。
松澤委員	若者向けのDV講座はとても大事なことです。実施していないとなるとBに傾くと思いますが、ただ、この施策の計画は意識啓発と記載がありますので、十分に周知していると考えて、Aとします。
伊藤委員	チラシやポスター等をもう少し工夫してほしいので、Bとします。
長岡委員	もう少し頑張してほしいという気持ちもあり、Bとします。
高田委員	進捗度に関しては3、今後の進め方は基本目標に「男女間のあらゆる暴力の根絶」とありますので、根絶を目標としていただきたいと思います。ですので、今後の活動に期待を込めるという意味でCとします。
副会長	私も、期待を込めた気持ちと、伊藤委員からもありましたが、啓発方法をも少し工夫していただきたいと思いますということもあり、Bとします。
議長	ありがとうございます。 審議会の評価としては、進捗度は3、今後の進め方はBとしたいと思います。 これにて、重点施策の評価が決定しました。その他の施策については、時間があればということでしたので、本日は重点施策のみとします。施策の評価は、進捗度や今後の進め方がどうであったということよりも、意見が重要ですので、事務局は意見をしっかりとフィードバックしてく

	<p>ださい。</p> <p>では、議題（３）に移ります。「平成２８年度第２次男女共同参画プラン関連講座計画について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 （係長）	<p>１点追加があります。資料２の市民講座の部分が未定となっておりますが、１０月１日（土）に「人材多様化時代における職場での人間関係の保ち方」というタイトルで、あゆネットさんが市民講座を開催されますので、追加をお願いします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>議題（３）について、何かご質問等ございますでしょうか。</p>
	<p><なし></p>
議長	<p>特にないようですので、次の次第に移ります。次第４その他 について、事務局から何かあれば説明をお願いします。</p>
事務局 （係長）	<p>施策評価の様式や、追加事項に関しまして、庁内会議や審議会にいただいたご意見を参考に、事務局で検討したうえで、審議会にて再度ご審議いただきたいと思っております。審議会は最大であと２回開催することができることとなっておりますので、時期や回数については未定ですが、早くも年末頃の開催を予定しております。開催日１か月前にはご連絡いたしますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>また、今回の内容に関しましては、審議結果を８月末を目途に皆さんにお送りし、ご意見等いただいたうえで、９月末頃ホームページで公開いたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>何かご質問等はありますか。</p>
伊藤委員	<p>各課にフィードバックした際に、様々な意見がまた出てくると思われますので、ぜひその意見もお聞かせいただければと思います。</p>
議長	<p>より実のある議論になると思っておりますので、事務局宜しくお願ひいたします。</p> <p>ではこれにて、平成２８年度第１回尾張旭市男女共同参画審議会を終了させていただきます。</p> <p>皆様、ご協力ありがとうございました。</p>